

科目名	老年看護学演習ⅡA Gerontological Nursing Seminar II		担当教員 (研究室番号)	小松 美砂 (301)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	misa.komatsu@mcn.ac.jp				
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
										遠隔授業	否
科目 目的	認知症を持つ高齢者と家族のケアマネジメントができる能力を養うとともに、保健医療福祉専門職の連携、効果的なチームアプローチについて探究し、最新の専門的知識に基づき高齢者・家族への看護を実践する能力を養う。また、老年看護に関する研究の特徴と動向を把握し今後の研究活動の土台とする。										
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追究していきける研究能力を身につけている。									
	関連する DP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。									
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症高齢者の看護について、疾患の特徴をふまえて説明できる。 2. 認知症ケアにおける保健医療福祉専門職の連携と看護の役割について自己の見解を述べるができる。 3. 認知症ケアの専門性と自己の課題について述べるができる。 4. 老年看護に関する研究の動向を把握し、特徴を発表することができる。 										
成績評価 方法 (基準)	プレゼンテーション40%、レポート40%、演習に取り組む姿勢20%										
教科書	特に指定しません。										
参考書等	Ebersole P., Hess P. et al (2015): Toward Healthy Aging: Human needs & nursing response. 9th ed, Mosby.										
受講者への メッセージ	主体的・積極的に参加することを期待します。										
備考											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法	
1回	認知症高齢者の看護①				認知症の診断と最新の治療や、認知症高齢者に用いるアセスメントツールと活用方法について考察する。				小松	演習	
2回	認知症高齢者の看護②				認知症高齢者のアセスメントツールを臨地で使用する際の具体例を発表し、有効性について検討する。				小松	演習	
3回	認知症高齢者の看護③				認知症の中核症状やBPSDの特徴や、認知症高齢者への看護について考察する。				小松	演習	
4回	認知症高齢者の看護④				Person Centered Care, Validation therapy, Humanitude等、認知症高齢者への非薬物療法について考察する。				小松	演習	
5回	認知症高齢者の看護⑤				認知症高齢者への看護について、臨地で実践可能なアプローチについて具体例を発表し、有効性について検討する。				小松	演習	
6回	認知症高齢者の看護⑥				Person Centered Careを臨地で実践する際の具体例を発表し、有効性について検討する。				小松	演習	
7回	認知症高齢者の看護⑦				認知症高齢者に関わる制度・施策の動向や、認知症看護における今後の課題について考察する。				小松	演習	
8回	認知症高齢者の看護⑧				認知症高齢者への看護について演習を行った内容をふまえ、今後、認知症高齢者へのケアにおいて重要と思われることについて、自己の考えをまとめる。				小松	演習	
9回	認知症高齢者の看護⑨				認知症高齢者への看護について演習を行った内容をふまえ、今後、認知症高齢者へのケアにおいて重要と思われることについて、自己の考えを発表する。				小松	演習	
10回	老年看護に関する質的研究①				老年看護に関する複数の質的研究(英文を含む)をクリティークし、研究の動向について検討する。				小松	演習	
11回	老年看護に関する質的研究②				老年看護に関する質的研究の特徴を明確化し、今後必要となる研究とそこでの課題について検討する。				小松	演習	
12回	老年看護に関する質的研究③				老年看護に関する質的研究の特徴と課題について検討した内容を発表する。				小松	演習	
13回	老年看護に関する量的研究①				老年看護に関する複数の量的研究(英文を含む)をクリティークし、研究の動向について検討する。				小松	演習	
14回	老年看護に関する量的研究②				老年看護に関する量的研究の特徴を明確化し、今後必要となる研究とそこでの課題について検討する。				小松	演習	
15回	老年看護に関する量的研究③				老年看護に関する量的研究の特徴と課題について検討した内容を発表する。				小松	演習	